

別記様式

随 意 契 約 結 果 書

件 名 及 び 数 量	車道透水性試験舗装に関する調査検討業務
契約担当官等の氏名 並びに所属する部局 の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所長 高 良 保 英 (沖縄県名護市大北4丁目28番34号)
契 約 締 結 日	平成17年 4月27日
契約の相手方の氏名 及び住所	(財)道路保全技術センター 東京都文京区後楽二丁目3番21号
契 約 金 額 (消費税及び地方 消費税含む)	8, 190, 000円
予 定 価 格 (消費税及び地方 消費税含む)	8, 211, 000円
随意契約によることと した理由	別紙のとおり
備 考	

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

随意契約理由書

1. 業務名 車道透水性試験舗装に関する調査検討業務
2. 履行場所 北部国道事務所
3. 契約の相手方 名称 財団法人 道路保全技術センター
住所 東京都文京区後楽二丁目3番21号
4. 随意契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び予算令102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

(1) 目的・内容

本業務は、国土交通省の各地整で予定されている車道透水性舗装の試験舗装の実施に対し、雨水の流出抑制効果や重交通に対応する支持力や耐久性の把握等を目的に、平成15年度において、施工時の調査及び試験舗装計画、流出抑制及び耐久性に関する調査を行い、平成16年度及び平成17年度において追跡調査、解析及び技術的な検討を行うものである。

(2) 理 由

上記の法人は、現在（独立行政法人）土木研究所の委託により「車道透水性舗装に関する検討業務」を行っており、これまで車道透水性舗装の試験舗装の実施にあたって、車道透水性舗装の文献や施工事例等の調査を行い、土木研究所と共に、試験舗装箇所における地形や土質条件、交通量の把握等の事前調査を実施してきている。

また、有識者による検討会を開催し、試験舗装箇所に適用する構造断面や調査項目を検討して、試験舗装マニュアル（案）の作成業務も行っている。

財団法人道路保全技術センターは、道路保全の技術に関する調査研究、開発等に関する事業を行い、効率的かつ合理的な保全技術の向上を図り、もって道路交通の安全と円滑化に貢献し、国民生活の向上に寄与することを目的として設立されており、本業務に必要な車道透水性舗装に関する検討実績も豊富であり、各地整に対して各支部があることで、試験舗装の調査にあたり、効率的な業務遂行の体制が整備されている。

さらに、本業務の遂行にあたって、上記の法人は民間コンサルタントにはない舗装に関する総合的で高度な専門知識と経験を有するものである。

よって、同法人が本業務の目的及び内容を遂行できる唯一の相手であると判断され、会計法第29条の3第4項及び予算令102条の4第三号に基づき同法人と随意契約を行うものである。